

具体的な要望事項

令和2年10月1日

その1 主要道路の路面高さの20cm引き上げ

地区内の縦と横の主要道路2本ずつの道路路面の20cm引き上げを図る多くの昼間人口の存在を無視せずに、温暖化、雨の集中化の時代に縦横の避難路を作りたい。県の公園が出来ても、防災道路の声も出てこない。この地区の防災会は地震よりも 水害対策案作りに緊急性を感じている。市の防災マップの水害予報のページを見てくれないのか。水害対策は先ずは下(しも)からと教えてくれたのは建設部だ。計画はそうになっていない。水の深さは水色の濃さで表していないのか。その中に学校群、老健施設群、病院、温泉、訓練高校。職安と数多の施設が並んで 昼間人口の多さには驚くばかりでイオンモールにも負けない。この人達が学習し、食べて 飲む。日曜日を除いてここで生活しているのだ。温暖化で集中豪雨が起きやすい危険性が高まっているなか、生活インフラの基本の道路と川の残り1mにあえいでいる中の濠川に 水を流して少しずつでも改善しようとしていない。市長やそのグループの作った次期計画にさえ触れられていない。

その2 大沼公園の地下管渠施設を作るのが 防災優先施設対応だ！

防災資料は何の為に作られているのか？選挙の前ではゴミか！当地区は警察や消防施設地方庁舎、大沼運動公園が隣接し緊急体制時にこの地区用に大沼公園地下に 他地区の運動公園地下やその他の前に地下に水を溜める地下管渠作りを行うべきである。水色でも優先すべきだ。道路も低く水が溜まりやすい地区に 警察や消防施設の災害時の担当部署を配置し何故改善しないのか？議会でも問題にしないのか？

道路路面の高さと川の流れを見ると中の濠川と谷原往還(1-21号線)の西側の側溝は 出口のない川にしまっている故である。水が流れる川の要求は何故に時間が懸かるのか？当たり前でないのか？
流れない川で行き止まりで 水が溜まる。故に200Mを掘れというだけだ。

河川課には 中の濠川の水が流れる施設づくり(大谷川の分割)と3つの改善案を早急に作ってほしい。優先順位が間違いでないように！